

□計画の背景 2018年度以降のICT環境の整備方針(文部科学省)

本計画においても、最低限、これらを踏まえると同時に、将来の発展性に備える必要がある

「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」のポイント
～これからの学習活動を支えるICT機器等と設置の考え方～ (2017年12月26日策定)

第2期教育振興基本計画(2012~2017年)における目標			これからの学習活動を支えるICT環境(2018年~)		
ICT機器	整備対象(教室等)	対象学校種	ICT機器	整備対象(教室等)	対象学校種
○電子黒板	普通教室 (H29.3現在 24.4%)	全学校種	○大型提示装置	普通教室 + 特別教室	全学校種
○実物投影機(書画カメラ)	普通教室		○実物投影装置	普通教室 + 特別教室	小学校・特別支援
○教育用コンピュータ	3.6人/台 (H29.3現在 5.9人/台)		○学習者用コンピュータ	3クラスに1クラス分程度	全学校種
○学習用ツール	教育用コンピュータの台数分		○指導者用コンピュータ	授業を担当する教員1人1台	
○無線LAN	普通教室 (H29.3現在 29.6%)		○学習用ツール	学習者及び指導者用コンピュータの台数分	
○校務用コンピュータ	教員1人1台		○無線LAN	普通教室 + 特別教室	
○超高速インターネット接続	学校		○校務用コンピュータ	教員1人1台	
○ICT支援員	配置		○超高速インターネット接続	学校	
		○ICT支援員	配置		

新規追加事項		
ICT機器	整備対象(教室等)	対象学校種
○学習者用コンピュータ(予備用)	故障・不具合に備えた複数の予備機の配備	全学校種
○充電保管庫	学習者用コンピュータの充電・保管用	
○有線LAN	コンピュータ教室、職員室及び保健室等への有線LAN環境の整備	
○学習用サーバ	学校ごとに1台	
○ソフトウェア	・統合型校務支援システムの整備 ・セキュリティソフトの整備	
○校務用サーバ	学校の設置者(教育委員会)ごとに1台の整備	

①学習者用コンピュータ
 ➡ 現行の3.6人/台から3クラスに1クラス分程度に変更【授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」を可能とする環境の実現】(1日1コマ分程度を当面の目安とする)

②電子黒板
 ➡ 「大型提示装置」に名称変更(スペックの見直し)
 ※①提示機能、②インタラクティブ機能のうち、「大きく映す」という①の提示機能を必須とした上で、実際の学習活動を想定し、配備を進めることが適当。

※「全学校種」とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のことをいう。

□ICT・IoT環境の考え方

本計画では、将来発展性を備えた基幹ネットワークを構築するとともに、新しい学校づくりの基本コンセプトや施設計画の目標を実現するためにICT・IoTの技術を積極的に活かす。活用の視点を次に示す。

○安平町が抱える学校教育課題に応えるICT・IoT

- ・へき地小規模校の課題を解決する
- ・多様な価値観を持つ教育人材登用に資する
- ・豊かな体験活動を支える
- ・・・町単位における専科等の教員の柔軟な配置や遠隔授業の導入
- ・・・世界と交流できるビデオ会議システム、Webを介したゲストTeacherの招聘
- ・・・バーチャルリアリティ、3Dスクリーン、大型モニター、プロジェクションマッピング等の活用

○児童生徒の多様化に対応した学びを支えるICT・IoT

- ・一人ひとりの確かな学びを支える
- ・ICTリテラシーを高める
- ・・・学びの履歴(ポートフォリオ)活かした個別対応、障がい対応、不登校対応
- ・・・プログラミング教育に資する教材開発と蓄積・人的支援

○教職員の働き方改革を支援するICT・IoT

- ・現状の課題に応えられる校務支援システムの導入
- ・管理事務支援システム
- ・現業事務支援システム
- ・・・カリキュラムマネジメント →現状分析に基づくシステムの最適化
- ・・・施設管理、点検の効率化、スマートロック
- ・・・事務の共同化(効率化)、ペーパーレス化、Web発注システム

○地域連携・学校施設開放を促すICT・IoT

- ・誰もが分かりやすく使いやすい予約システム
- ・学校と地域双方の利便性を高めるシステム導入
- ・・・Web等の活用 →開放管理対応に関する学校負担の解消
- ・・・学校図書館運営システム(蔵書管理・排架の効率化・タグ)、スマートロック

○防犯・安全対策に資するICT・IoT

- ・不審者対応など防犯システムの構築
- ・児童生徒・地域開放利用者の個人情報管理システム
- ・・・ICT・IoT技術と人的対応の融合
- ・・・成績(学校)や貸出(図書館)などのデータベースの情報漏えいシステム

○施設維持管理・省エネ対策に資するICT・IoT

- ・施設修繕を効果的に実行できる維持管理システム
- ・消費エネルギー解析に基づく自己最適化システム
- ・・・施設点検に基づく老朽状況のデータベース化と費用試算
- ・・・省エネ対策のAI利用、ネットワークを介した教育委員会事務局での一元管理